

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境					0.36		-	3.1
1 音環境				2.6	0.15		-	2.6
1.1 室内騒音レベル		—		3.0	0.40		-	
1.2 遮音		—		3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能		—		3.0	0.82		-	
2 界壁遮音性能		—		3.0	0.18		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		—			-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		—			-		-	
1.3 吸音		—		1.0	0.20		-	
2 温熱環境				3.0	0.35		-	3.0
2.1 室温制御		—		3.0	0.50		-	
1 室温		—		3.0	0.44		-	
2 外皮性能		—		3.0	0.20		-	
3 ゾーン別制御性		—		3.0	0.35		-	
2.2 湿度制御		—		3.0	0.20		-	
2.3 空調方式		—		3.0	0.30		-	
3 光・視環境				3.4	0.25		-	
3.1 屋光利用				4.0	0.41		-	
1 屋光率		—			-		-	
2 方位別開口		—			-		-	
3 屋光利用設備		売場に天窗を設けている		4.0	1.00		-	
3.2 グレア対策		—		3.0	0.13		-	
1 屋光制御		—		3.0	1.00		-	
3.3 照度		—		3.0	0.07		-	
3.4 照明制御		—		3.0	0.39		-	
4 空気質環境				3.4	0.25		-	3.4
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-	
1 化学汚染物質		下地・仕上げ材すべてをF☆☆☆☆とする		4.0	1.00		-	
4.2 換気				2.7	0.30		-	
1 換気量		—		3.0	0.43		-	
2 自然換気性能		—		1.0	0.15		-	
3 取り入れ外気への配慮		—		3.0	0.43	3.0	-	
4.3 運用管理				3.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視		—		3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御		—		3.0	0.50		-	
Q2 サービス性能				—	0.30		-	2.9
1 機能性				2.7	0.40		-	2.7
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40		-	
1 広さ・収納性		—			-		-	
2 高度情報通信設備対応		—			-		-	
3 バリアフリー計画		—		3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性				2.6	0.30		-	
1 広さ感・景観		売場天井高さは3900mm		5.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース		—		2.0	0.33		-	
3 内装計画		—		1.0	0.33	1.0	-	
1.3 維持管理				2.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		—		3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		—		2.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				2.8	0.30		-	2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		—		3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能		—		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数		—		3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		—		2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		壁:ビニルクロス(20年)、床:セラミックタイル(30年)		5.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		—		3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給排水はすべてBを使用		5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		—		3.0	0.20		-	
2.4 信頼性				1.4	0.20		-	
1 空調・換気設備		—		3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備		—		1.0	0.20		-	
3 電気設備		—		1.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法		—		1.0	0.20		-	
5 通信・情報設備		—		1.0	0.20		-	

3	対応性・更新性			3.4	0.30	-	-	3.4	
	3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-		
	1	階高のゆとり	階高4.25m以上	5.0	0.60	-	-		
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.12	4.0	0.40	-	-		
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-		
	3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-		
	1	空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-		
	2	給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-		
	3	電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-		
	4	通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-		
	5	設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-		
	6	バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-		
	Q3 室外環境(敷地内)				-	0.34	-	-	2.4
1	生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0	
2	まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0	
3	地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0	
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-		
	3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	2.8	
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	2.5	
1	建物外皮の熱負荷抑制			1.0	0.20	-	-	1.0	
2	自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0	
3	設備システムの高効率化			2.9	0.50	-	-	2.9	
	集合住宅以外の評価			2.9	1.00	-	-		
	集合住宅の評価			-	-	-	-		
4	効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0	
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-		
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-		
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-		
	集合住宅の評価			-	-	-	-		
	4.1	モニタリング		-	-	-	-		
	4.2	運用管理体制		-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.7	
1	水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2	
	1.1	節水		1.0	0.40	-	-		
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-		
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-		
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-		
2	非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8	
	2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-		
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-		
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-		
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-		
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-		
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-		
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0	
	3.1	有害物質を含まない材料の使用		壁紙用接着剤にF☆☆☆☆のものを使用	4.0	0.30	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		2.6	0.70	-	-		
	1	消火剤		2.0	0.33	-	-		
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-		
	3	冷媒		3.0	0.33	-	-		
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.4	
1	地球温暖化への配慮			LCCO2排出率68%	4.2	0.33	-	-	4.2
2	地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8	
	2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-		
	2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-		
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-		
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-		
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-		
	3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-		
	4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-		
3	周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2	
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-		
	1	騒音		3.0	1.00	-	-		
	2	振動		-	-	-	-		
	3	悪臭		-	-	-	-		
	3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-		
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-		
	2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-		
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-		
	3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-		
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		全ての取り組みを行っている	5.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		-	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-			-	-	-	-	-	-					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0		○	○	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	1.0		-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
2.4.3 電気設備	-	-	-	-	-	-	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	-		-	-	-	-	-	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	4.0		-	-	2.0	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		-	-	1.0	-	-	-	-						
3.2 敷地内温熱環境の向上	4.0		-	1.0	1.0	1.0	-	-	1.0	-	-				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-									
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-		-	-	-	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	2.0														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	10.0		1.0	1.0	3.0	2.0	1.0	-	-	-	1.0	1.0			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	-	1.0	-	-	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0		-	1.0	-	-	-	-	-						
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η) 0.7						
U値(W/m2K)	窓システム 6.3	屋根	-	外壁 2.6	床	-		
住戸部分	窓システムU値	-	外皮UA値	-	η AC	-	η AH	-
星光率	0.0%							
自然換気有効開口面積率	0.0%							

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

執務スペース	.0㎡ /人	病床	.0㎡ /床	シングル	.0㎡ ツイン	.0㎡
コンセント容量	-	VA/㎡				
天井高	3.9 m					
リフレッシュスペース	-	レストスペース	-			
想定耐用年数	0 年					
想定必要間隔	15 年					
想定必要間隔	20 年					
想定必要間隔	0 年					
階高	4.25 m					
壁長さ比率	12.0%					
床荷重	-	N/m2				

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

外構緑化指数		22%		建物緑化指数		0%	
空地率	52%	水平投影面積率	42%	地表面対策面積率	19%	舗装面積率	40%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

BPI/BPI _m	1.09	断熱等性能等級		等級4 相当			
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数		0.0%	採光を満たす住戸数		0.0%
		通風を満たす教室数		0.0%	通風を満たす住戸数		0.0%
		太陽光		144.0kW	太陽熱等		蓄電池
BEI/BEI _m	再エネ有	0.62	無	0.80	オフサイト再エネ有		-
一次エネルギー削減率	再エネ有		無				-

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

雨水利用率	0.0%				
特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-
使用比率	0.0%				
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)			
オゾン層破壊係数(ODP)	-	地球温暖化係数(GWP)			
オゾン層破壊係数(ODP)	-	地球温暖化係数(GWP)	-		

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	32%					隣棟間隔指標 R_w	0.40				
地表面対策面積率	0.0%		屋根面対策面積率	0.0%		外壁面対策面積率	0.0%				
見付面積 S_b	803 m^2		卓越風向と直交する最大敷地幅 W_s	200 m		基準高さ H_b	12.4 m				
緑地	669 m^2	水面	m^2	保水性対策面	m^2	高反射対策面	m^2	再帰性反射対策面	m^2		